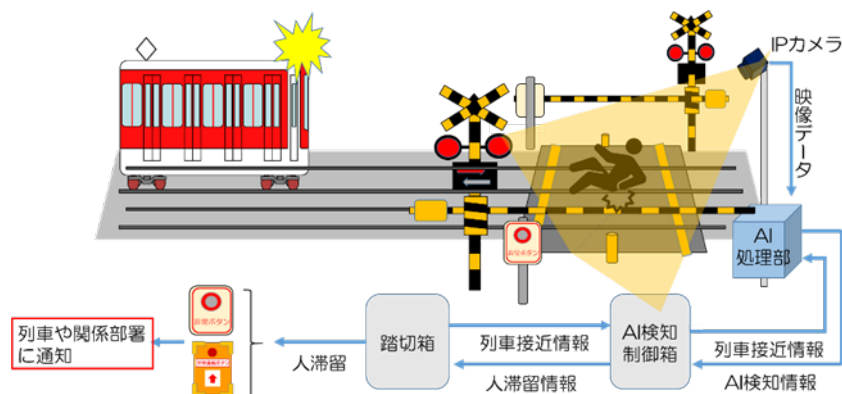


## 近畿日本鉄道に AI 画像解析を活用した「踏切道歩行者見守りシステム」を納入

丸紅 I-DIGIO グループ・IT 基盤サービスセグメント(セグメント CEO:長尾 頼明)の丸紅ネットワークソリューションズ株式会社(代表取締役社長:佐藤 由浩)は、近畿日本鉄道株式会社(代表取締役社長:原 恭 以下、近畿日本鉄道)に、AI 画像解析を活用した踏切道歩行者見守りシステム(以下「本システム」)を納入しました。本システムは、2025年4月より開始した近畿日本鉄道での導入試験を経て、奈良線 瓢箪山第2号踏切道および京都線 山田川駅構内踏切において本格運用が開始されます。



### 1. システム概要

本システムは、踏切道や構内踏切(以下、「踏切道等」)に設置したカメラの映像を AI が画像解析し、列車接近時、踏切道等に取り残された人を検知した場合、押ボタン式踏切支障報知装置または非常通報装置を動作させることで、いち早く列車や関係部署へ通知します。

※押ボタン式踏切支障報知装置…踏切道内で異常が発生した場合に押ボタンを操作することで周囲の列車に異常を知らせる装置。

※非常通報装置…駅のホームにおいて、お客さまがホームから線路に転落したときなど、列車を緊急に停止させる必要が発生した場合に、ホーム上に設置した非常通報押ボタンを操作することで、乗務員に異常を知らせる装置。

### 2. 場所および運用開始日

- ・京都線 山田川駅構内踏切 ~~2026年3月26日(木)初列車から~~ ←4月中旬頃に延期  
(京都府相楽郡精華町)

・奈良線 瓢箪山第2号踏切道 ~~2026年3月28日(主)初列車から~~ ←4月中旬頃に延期  
(大阪府東大阪市河内町)

丸紅 I-DIGIO グループは、今後も AI やネットワーク技術を活用したソリューションの提供を通じて、鉄道分野における安全・安心の向上に貢献します。

#### 【近畿日本鉄道株式会社について】

近畿日本鉄道は、大阪・京都・奈良・三重・愛知の2府3県に広がる鉄道路線網を有します。総延長は私鉄最長を誇り、「ひのとり」「しまかぜ」など多彩な特急列車が人気です。通勤・通学の足として、また伊勢志摩や奈良などへの観光輸送を担い、地域の発展と人々の交流を支えています。沿線の歴史文化を大切にしながら、新たな観光価値を創造し、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

ホームページ: <https://www.kintetsu.co.jp/>

#### 【丸紅 I-DIGIO グループについて】

丸紅 I-DIGIO グループは、丸紅株式会社の ICT 領域における事業会社グループとして、以下の4事業セグメントに注力し、商社の強みである幅広い顧客基盤とネットワークを生かした成長戦略を推進しています。

製造ソリューションセグメント: 製造業向けソリューション

流通・産業ソリューションセグメント: システム開発およびコンタクトセンターソリューション

デジタルソリューションセグメント: ネットワーク・ストレージ・クラウド・セキュリティ領域のソリューション

IT 基盤サービスセグメント: IT 基盤領域の設計・構築・運用

ホームページ: <https://www.marubeni-idigio.com/>

<お問い合わせ先(プレス関係者窓口)>

丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社

管理本部 マーケティング&コミュニケーション部 広報課

〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目6番1号 住友不動産飯田橋ファーストタワー

電話: 03-4243-4040

<製品に関するお問い合わせ>

丸紅 I-DIGIO グループ

IT 基盤サービスセグメント エッジソリューション事業室

電話: 03-4512-3200(代)

\*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

\*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。